



TOYAMA  
UNIVERSITY  
HOSPITAL

富山大学附属病院だより

# 信 頼

## 特集

形成再建外科・美容外科の開設  
リハビリテーション科の開設  
先端めまいセンターを設立  
新任教授の抱負  
医療機器管理センターの紹介

連携病院のご案内「糸魚川総合病院」  
食と健康「筋肉減少症（サルコペニア）を防ぐ食事」  
読むくすり箱「医薬品の適応外使用って何ですか？」  
認定看護師のご紹介  
富山大学附属病院基金 寄付者御芳名版を設置  
当院の看護師が人命救助で表彰されました  
季節のご挨拶  
病院ボランティアを募集しています

かわら版

TOYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

Vol.

140

2020年1月発行



## 形成再建外科・美容外科の開設 「患者さんのための最高の医療提供をめざして」

みなさま こんにちは

2020年1月から富山大学附属病院に赴任しました佐武利彦です。富山県砺波市出身です。1983年3月に高校を卒業し、37年ぶりに故郷の富山に帰ってきました。わたしは久留米大学医学部卒業後に、東京女子医科大学、横浜市立大学の形成外科に在籍して、多くの手術経験を積み、大学での教育、研究にも携わりました。今回、「地元の富山県での形成外科の普及・発展に貢献する」ために、富山大学に異動してきました。

みなさま どうぞよろしくお願ひします。

今回、富山大学附属病院に開設されました「形成再建外科・美容外科」が、どのような診療を今後行い、みなさまのためにお役に立てるかを、簡単にご説明させていただきます。

### 1) 形成外科とは



頭のとっぺんからつま先まで、あつかう範囲が広いです。身体の表面の形態や機能の異常を、手術をはじめ特殊な方法を駆使して、正常に治します。先天性（うまれつき）や後天性（うまれたあと）にかかる病気、外傷（ケガ）による障害を回復させて、患者さんの生活の質QOLの向上をめざします。

具体的な病気は、次の通りです。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ・外傷(ケガ)         | ・顔面骨折             |
| ・熱傷(やけど)        | ・癍痕(キズ痕、ひきつれ)     |
| ・腫瘍             | ・先天異常             |
| ・皮膚腫瘍           | ・がん切除後の再建(乳房再建など) |
| ・褥瘡・潰瘍(治りにくいキズ) | ・その他              |

### 2) 再建外科について

おもにがんを切除した後の身体の大切な臓器を治すために、再建手術を行います。修復するために、身体の各部位から皮膚、脂肪、筋肉、骨などを部分的に採って、顕微鏡で見ながら、細かい血管や神経をつないで治します。大学病院では、消化器外科、



形成再建外科・美容外科  
特命教授 佐武利彦

乳腺科・内分泌外科、耳鼻咽喉科、顎口腔外科、脳神経外科、皮膚科、産科婦人科、泌尿器科などで、がん切除のあとに再建手術を引き継いでいますが、とても重要な役割を担います。

とくに乳がん術後の乳房再建を専門としています。「やわらかく温かく自然な形態の乳房」を目指して、腹部、殿部、大腿部、腰部から、身体への負担が少ない脂肪採取法を開発し、血流のある脂肪で乳房を再建します。最近では細い管で吸引した脂肪を注入して再建する方法も導入し、新たな傷痕が増えずに再建できますし、患者さんご自身の脂肪幹細胞を培養して用いる再生医療の技術も利用できます。

### 3) 美容外科の役割

富山大学附属病院では今回、新たに形成外科が設立され、「形成再建外科・美容外科」の診療科名でスタートしました。患者さんの治療では、まず形態・機能の改善を目指します。そしてきれいに、より美しく治療することを最終目標とします。そのためには、形成再建外科だけでなく、美容外科の技術も駆使して、みなさまに最高の医療を提供できるように頑張りたいと考えています。

富山は東京、大阪、名古屋から等距離にあり、北陸新幹線、羽田空港経由のフライトで全国からのアクセスが格段によくなり、観光地、パワースポット、海・山の幸にも恵まれています。是非とも富山県内外、海外から多くの患者さんにお越しいただきたいと思ひます。



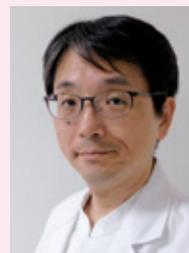
## リハビリテーション科の開設 「安全に、楽しく、しっかりとリハビリテーションに取り組んでもらえるように」

2020年1月、富山大学附属病院にリハビリテーション科が開設されました。

リハビリテーション科では、病気やけがにより、体を動かしたり、食事をしたり、おしゃべりをしたり、ものを覚えるのが難しくなった、というような症状を治療します。したがって、その原因となる病気は、脳卒中、骨折、関節リウマチ、パーキンソン病などの神経・精神の病気、小児の病気、心臓や肺などの内臓の病気、がんなど実にさまざまです。

リハビリテーション科の治療の目標は、患者さんの日々の暮らしでの「活動」を、できる限り病気の前の状態に戻すことです。そのために、医師、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）という専門のスタッフが、患者さんの主治医と連携をとり、患者さんに、安全に、楽しく、しっかりとリハビリテーションに取り組んでもらえるようにします。

実際のリハビリテーションの場面では、機能の回復をめざして、さまざまな治療をおこない、場合によっては、リハビリテーション用に開発された道具や装具を取り入れ、また、自宅で快適に過ごせるように、住宅改修などの環境の提案などをさせていただくこともあります。また、



リハビリテーション科  
特命教授 服部 憲明

家の中だけでなく、仕事や学校など、社会での活動に戻るためにどうすればよいかについても一緒に考えていきます。大学病院でのリハビリテーションの後、さらなるリハビリテーションが必要な場合には、回復期リハビリテーション病院などへの転院についても、患者さんやご家族と一緒に考えます。

リハビリテーション医学の分野では、さまざまな新しい治療法や、情報技術（IT）やロボットなどの技術が次々と導入されてきています。私たちは、このような新しい手法を積極的にとり入れ、先端のリハビリテーション治療を患者さんに受けていただけるように努めます。

スタートしたばかりの診療科です。皆様のご意見をしっかりと受け止め、成長・発展していきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願い致します。



## 先端めまいセンターを設立

めまいは日常診療において最も頻度の高い症状の1つです。めまいは回転性めまいと非回転性めまいに分けられます。回転性めまいは、文字通り、自分または周囲が回る回転感覚であり、非回転性めまいはふわふわと浮いている様な浮遊感がふくまれています。めまいをおこす病気は多岐にわたり、メニエール病、良性発作性頭位めまい症などの末梢性めまいと脳血管障害、脳腫瘍などの中枢性めまいがあります。

めまいの原因を調べる検査としてCTやMRIなどの画像検査が広く行われています。しかしながら、これらの検査で異常を示さず、めまいの原因が分からないため、適切な治療を早期に開始することができず、慢性化してしまう場合が少なからず存在します。そのような問題を解決するため、富山大学先端めまいセンターは、林 篤志病院長のご支援のもと2019年11月に設立されました。当センターでは、めまいの新規検査装置が設置されています。

内耳にはめまいに関連する感覚器は5種類あります。これまで検査では1種類（外側半規管といいます）の機能しか調べることができません。当センターでは、新しいめまいの検査である前庭誘発筋電位検査などを駆使して全ての感覚器の機能を調べ、めまいの原因追及を行っています。

難治性めまいであるメニエール病は、その病態が内耳内リンパ水腫であると言われていています。当センターでは、独自の振子様回転検査などを活用して内耳の全ての部位での内リンパ水腫を評価しています。さらに、放射線科との連



耳鼻咽喉科  
科長 將積 日出夫

携により新規の内リンパ水腫の画像診断である内耳造影MRI検査を行っています。メニエール病では、お薬の治療で効果がない場合には中耳加圧治療の対象となります。この治療は、富山大学で開発したもので、2018年に健康保険で治療することができるようになりました。めまい発作が反復する場合には、メニエール病かどうかを診断して適切な治療を開始する必要があります。

当センターでは、日本めまい平衡医学会のめまい相談医の資格を持つ医師が、最高レベルのめまい診療を行っており、県内外からも多くの患者さんが富山大学附属病院を受診されておられます。



# 新任教授の抱負

## 地域の患者さんに安心した医療を受けていただけるように

整形外科  
教授 川口 善治



2019年9月に整形外科の教授を拝命した川口善治です。私は富山生まれの富山育ちで富山中部高校を卒業し富山医科薬科大学（現、富山大学）に進学し、1988年に医師となりました。専門は背骨の病気の治療であり、くびから腰までの病気を時には外科的手法（手術）を持って治療に当たっています。

例えば、日本では腰痛に悩んでおられる患者さんが多くおられます。これらの患者さんに対しては、まずは適切に診断を下すこと、その上で必要があれば手術を行い、また必要がなければ投薬や理学療法などあらゆる手段を駆使し、最高の治療をすることを心掛けています。さらに整形外科は、関節の痛みや運動機能障害、骨折を代表とする外傷など守備範囲は非常に広いのが特徴です。特に高齢化社会の到来に伴い骨粗鬆症などの、いわゆる加齢による病気に悩まれる患者さんも多くなっています。このような多くの患者さんに対して安心した医療を展開できるように、若手を育てながら本職を誠心誠意全うして参りたいと思っております。

## 臨床研究の躍進と 大学病院の使命遂行に向けて

臨床研究管理センター  
特命教授 寺元 剛



2019年10月より臨床研究管理センターの特命教授として着任いたしました寺元剛と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

大学病院に求められる「診療・教育・研究」といわれる三位一体の使命のうち、第三の研究分野は臨床研究に直結いたします。しかしながら、ここ数年の臨床研究に関する大幅な規制改革によって、実施に困惑されている先生方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。さらに最近では、大学における医薬開発の業績が求められております。富山大学におきましても、こうした動向に対して様々な取組が始まっています。そして、これらを遂行するために不正のない支援体制を確立することも重要な課題であります。

私は臨床研究に関する専門家として、研究者の先生方への支援を尽くしてまいりたいと思いますので、どうぞお気軽にご相談ください。富山大学附属病院や関連病院で行われる臨床研究のより一層の品質向上と活性化、そしてさらなる医学への貢献を願っております。改めて、どうぞよろしくお願いいたします。

## 医療機器管理センターの紹介

2019年4月より医療機器管理センター臨床工学技士長を拝命いたしました佐藤邦昭と申します。医療機器管理センターは、本院における各診療科等の共用可能な医療機器を中央管理することにより、これら機器に係る業務を円滑に行うことを趣旨に2002年2月に設置されました。当センターに臨床工学技士は現在17名所属しており、手術部、透析部、光学医療診療部、放射線部、医療機器管理センターに常駐し、生命維持管理装置をはじめとした医療機器の操作・臨床技術提供ならびに管理・保守・支援をおこなっています。

2019年4月に、北村寛 腎泌尿器科教授が医療機器管理センター長として着任され、新たな組織体制で医療機器の安全管理を遂行しております。

医療機器管理センターにおいては、人工呼吸器やシリンジポンプ、輸液ポンプなど院内共有で使用する医療機器の中央管理を実施し、院内に貸出し、返却後はセンターで点検整備する流れとなっており、医療機器の効率的な運用や安

医療機器管理センター  
臨床工学技士長 佐藤 邦昭



全な使用による有害事象の低減、また医療機器にかかるコスト削減に繋げています。医療安全においても積極的に関わり、院内研修やインシデントへの対策などを通して、医療事故の防止に努めています。

当院では本年より植込型補助人工心臓治療も開始され、臨床工学技士は植込まれた機器の管理や、患者様とご家族へのサポートなど、信頼される医療の実現のためハートチームの一員として担当しています。

今後も臨床工学技士は、富山大学附属病院が特定機能病院として導入される様々な高度先進医療においても、医療機器の安全管理に積極的に関わることで、医療の安全と発展に貢献してまいります。



糸魚川総合病院は、地域唯一の救急病院として、災害拠点病院として、臨床研修指定病院として、そして最新医療を行う病院として糸魚川地域の安心安全を守っております。



## 糸魚川総合病院

糸魚川の歴史は大変古く、古事記に登場する奴奈川姫の町であり、江戸時代には北国街道の宿場町として加賀藩の本陣がおかれ、醸造元の名前として残っていることでも有名です。この糸魚川市は新潟県の西端にあり、北は日本海、西は親知らず子知らずの絶壁、南は頸城三山と北アルプスに囲まれ、人口は4万2千人の町です。北陸新幹線の開通により、富山市から27分の距離となりましたが、先日の台風19号では、新幹線を含むすべての鉄道、高速道路が閉鎖され、あっという間に陸の孤島となりました。この地で当院は、地域唯一の救急病院・災害拠点病院として地域医療に大変重要な役割を担っています。

糸魚川総合病院は5病棟、総病床数261床です。介護老人保健施設なでしこ80床を併設しており、急性期から慢性期までのすべてを担っています。救急車受け入れ数は年間1748件(平成30年度)です。災害拠点病院のためDMATチームがあり、常に災害発生に備えています。臨床研修にも力を入れており、毎年多数の臨床

研修医の受け入れ、さらには富山大学、新潟大学、金沢大学からの医学生実習を受け入れています。

各診療科の特徴として、循環器内科は心臓カテーテル治療を、消化器内科は富山大学第三内科安田一郎教授指導の下、超音波内視鏡検査を行っています。2019年4月から富山大学附属病院寄付講座教授の岩田実先生をお迎えし糖尿病診療が一層充実しました。外科は、肝臓がん、乳がん、腹腔鏡(カメラ)での胃がん、大腸がん、胆のう手術、鼠経ヘルニア手術などを年間321件行いました。眼科は白内障手術を中心に、年間541件の手術がありました。整形外科は老人の骨折を中心に、脊椎、膝関節、手の手術などで507件の手術がありました。2020年1月からは、形成外科の診療がスタートし、4月から富山大学附属病院の膵臓・胆道センターのサテライト病院となるよう準備が進められています。

新潟県の病院ですが、富山大学附属病院と大変つながりの深い糸魚川総合病院を今後ともよろしくお願いいたします。



[病院名] 糸魚川総合病院  
 [病院長] 樋口 清博  
 [所在地] 新潟県糸魚川市大字竹ヶ花457番地1  
 TEL.025-552-0280 FAX.025-552-3819  
 [休診日] 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

[診療科] 内科・循環器内科・消化器内科・小児科・外科・消化器外科  
 脳神経外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・整形外科・皮膚科  
 泌尿器科・精神科・麻酔科・心臓血管外科・呼吸器外科  
 放射線科・リハビリテーション科・救急科・歯科  
 [病床] 一般病床261床



## 筋肉減少症（サルコペニア）を防ぐ食事

栄養管理室 室長 甲村 亮二

筋肉量が加齢に伴って減少すると日常生活でも支障が出てきます。このサルコペニア予防の栄養管理では、たんぱく質とビタミンD摂取が大切になります。

### 【たんぱく質の摂取】

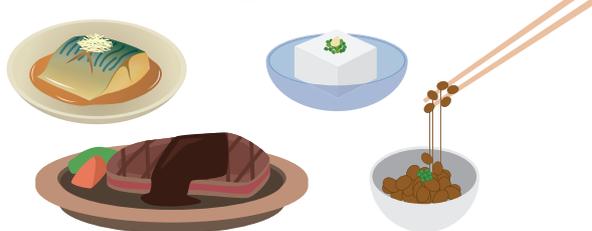
一般的にたんぱく質を多く含む食品は、肉、魚、卵、大豆製品、乳製品に代表されます。高齢の患者さんが「年をとったので食事はそうめんだけで良い」などでは炭水化物のみの摂取となり、筋量を保つ為のたんぱく質補充は難しいです。肉類、魚類、乳製品などの動物性蛋白質や大豆製品を主とした植物性蛋白質の補充を心掛けましょう。

### 【ビタミンDの摂取】

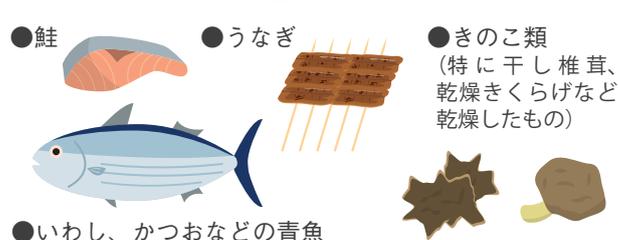
骨粗しょう症にも大切なビタミンDは筋肉代謝にも必要です。ビタミンDはサケ、サンマなどの魚類、きのこ類に多く含まれます。ビタミンDは油に溶ける性質があるので、油料理で吸収率は上がります。さらには、日光に当たることにより、皮膚でも合成されますので適度な日光浴も有益です。

骨を丈夫にするカルシウムは乳製品をはじめ大豆製品、魚、緑黄色野菜などに多く含まれます。丈夫な骨づくりと筋肉量の維持、日常的な運動でサルコペニアを予防しましょう

#### たんぱく質を多く含む食品



#### ビタミンDを多く含む食品



読む  
くすり箱

## 医薬品の適応外使用って何ですか？

薬剤部 副部长 小野 敦央

病院で使用される医療用医薬品は、治験という臨床試験を経て有効性と安全性が確認されたものに適応症と用法用量及びその他の注意事項が付加されて、国が承認したものになります。

大学病院には様々な病気の患者さんがいらっしゃいます。効果的な治療薬そのものがない、あるいは現在認められた治療薬では効果が無かったなど、理由は様々ですが一般の病院では治療困難な患者さんもいらっしゃいます。このような時に国が認めた適応症または用法用量を変更して使用することを適応外使用といいます。

本院では適応外使用の際は臨床倫理委員会で審査いたします。投与計画等を記載した申請書と共に根拠となる

資料、患者さんへの説明書及び同意書を基に内容を審議します。承認された一覧は定期的に医療安全室や薬剤部等に情報共有されます。

使用中は医師と共に病棟薬剤師も有効性や副作用についてモニタリングし注意を払っています。

<お薬でわからないこと、知りたいことはお近くの病棟薬剤師まで！>



# 当院の認定看護師をご紹介します

## 慢性心不全看護認定看護師

高齢社会を迎え、心不全患者さんが増えています。症状の悪化を予防しながら生活するには、日常生活の中で様々な工夫や管理が必要です。一人、ひとりの患者さんが望む治療や療養生活についてともに考え支援していきます

### 庵 朋美 (CCU)

私は心不全の急性期の患者さんを担当しています。入院早期から退院後の生活を見据えて必要な支援をつないでいきます。



### 藤坂 亜希 (南5階病棟)

病棟では、「心不全とうまく付き合いながら、安定した療養生活を送る為の方法」について患者さんと一緒に考えながら退院に向けての準備、支援を行っています。

## 透析看護認定看護師

透析患者さんは、食事・体重管理・バスキュラアクセスの管理など透析療法を継続していく上で社会や家庭での生活の調整が必要とされ生涯継続していくことになります。患者さんだけでなく生活を共にするご家族の理解と協力が不可欠です。患者さんを理解しセルフマネジメント能力が発揮できるよう支援します。

### 大西 冬美 (透析部)

入院された透析患者さんの透析治療に関わっています。多くの合併症を抱えた透析患者さんへ安全な透析治療を提供しています。

また、慢性腎不全の患者さんへ腎代替療法選択のための情報提供を行い、家族構成・生活背景から適切な治療選択ができるよう支援しています。

当院では生体・献腎移植を行っている施設です。腎移植後、患者さんやご家族に内服管理や生活指導を支援しています。透析前の生体腎移植など可能な時代になっています。腎不全末期で腎代替療法等でお悩みの方がいらっしゃいましたら、気軽に相談してください。



## 富山大学附属病院基金 寄付者御芳名版を設置しました

富山大学附属病院は、地域の医療機関と連携し、最後の砦としての役割を果たすため、新しい先進的な医療機器の整備、医療従事者の教育や医学研究のための「富山大学附属病院支援基金」を2017年度に創設いたしました。

基金へのご寄付を賜り公表を承諾された皆様（個人で5万円以上、法人で50万円以上）のご芳名を掲示し、謝意を表明いたします。

皆様と一緒に、より信頼される病院づくりを進めてまいりたいと思いますので、「富山大学附属病院支援基金」にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(外来棟守衛室横廊下)

## 当院の看護師が人命救助で表彰されました

当院の看護師が休暇中、氷見市の海岸で溺れた人に対し、救助に貢献したとして、氷見市消防署から表彰を受けました。2019年12月

12日に、氷見市消防署長から感謝状の贈呈式が行われました。



## オリンピックイヤーは飛躍の年



病院長 林 篤志

2020年、明けましておめでとうございます。いよいよ56年ぶりの東京オリンピックが今年開催されます。富山大学附属病院にも大変おめでたいことがありました。今まで患者さんからのご要望も強かった2領域である、形成再建外科・美容外科とリハビリテーション科が新設され、医療経験が豊富で人格も優れた素晴らしいお二人の教授（佐武教授と服部教授）が着任さ

れました。これで当院は富山県で唯一、すべての専門医を養成できる施設となり、富山の地域医療を支える医療人材をますます育成できるようになりました。今年は当院も大きく飛躍する年となります。皆さまの期待にしっかりお応えできるよう頑張りますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 糖尿病－何気ない普段の生活を見直そう 「とやまパラドックス」からの提案



副病院長 戸邊 一之

魚介類や野菜などの生鮮食品をたくさん食べていて、さほど肥満でもないのに、メタボにも糖尿病にもなりにくいはずなのに、メタボ（内臓脂肪の蓄積）や糖尿病が多い。富山県民の特徴です。魚には、「オメガ3」という糖尿病や動脈硬化によい良質の油が含まれています。富山湾で採れるブリにもこの「オメガ3」の油がたくさん含まれています。さらにいろいろと調べていくと、カツや天ぷら、フライなどの太りやすい「悪玉油」を多く含んでいる油物も多く食べていることがわかってきました。共働きで時間的余裕がないので、調理が簡単な冷凍食品やスーパーなどで売っている調理食品で済ませ

てしまいがちですが、これらの食品には塩分や「悪玉油」を多く含んでおります。さらに、風呂上がりのアイスクリームがやめられない糖尿病の患者さんの話も聞きます。共働きと関連しますが、夕食後に間食をしたり、夕食後2時間以内に寝てしまう方が多いのも特徴です。若い世代ではカップ麺やチョコレートの消費も多いです。このことが子供に伝わるのか、小児の肥満傾向児も11歳時点で男児では全国で13位と高い方です。何気なく行ってきた健康に悪い生活習慣に気づいて、人生100年時代を元気に生きましょう。

### 編集後記

いよいよ2020年、始まりました。オリンピック、パラリンピックと大イベントが待っています。

これでもう…オリンピック・パラリンピックの日本での開催はないだろう…と。

そう思うと感慨深いものがあります。昨年のラグビーの世界カップでは「OneTeam」という言葉が心に訴えるも

のがありました。

今度はオリンピック、パラリンピックでアスリートが活躍する中、また違った名言が生まれるかもしれません。社会情勢が厳しい中でも私たち医療チームが一丸となり…「OneTeam」で富山大学附属病院を盛り上げていきたいと思えます。

広報委員 三日市 麻紀子



# 病院ボランティアを募集しています



富山大学附属病院では  
患者さまの診察をサポートして下さる  
素敵なボランティアを募集しています。



## 【活動日及び時間】

- ・月曜日から金曜日で外来診療日
- ・8時30分から15時までの間で希望する時間帯



## 【募集対象】

- ・18歳以上の方
- ・プライバシーを守れる方
- ・心身ともに健康な方



## 【その他】

- ・ボランティア保険に加入していただきます。
- ・健康診断を受けていただきます。
- ・インフルエンザ予防接種、抗体価検査を受けていただきます。  
※以上の費用は病院が負担します。
- ・活動前にオリエンテーションを行います。
- ・活動中は貸与する被服等を着用し、ネームプレートを付けてください。
- ・5%追加でチャージできる病院サービス（コンビニなど）利用カードを発行いたします。



## 【活動内容】

- ・外来ホールで受付の案内
- ・病院内の案内
- ・車椅子の介助
- ・自動再来受付機の操作案内



## 【お申込み・お問い合わせ先】

富山大学附属病院 医事課

TEL：076-434-7080

FAX：076-434-5117

e-mail：hospital@med.u-toyama.ac.jp